

令和5年度中野市立博物館協議会

審議会等の名称	中野市立博物館協議会
担当課（連絡先）	中野市立博物館 電話 22-2005（内線：8122）
開催日時	令和5年5月24日（水） 午後3時から午後4時30分
開催場所	中野市立博物館 大研修室
出席委員	大西浩次委員、土屋積委員、徳武真弓委員、長張茂樹委員、水澤教子委員、宮下宏委員、山崎圭委員、山田正子委員、湯本巖委員
出席職員	柴本教育長、柴本教育次長、舘林館長、小林副館長、大滝主査、柳生学芸員、細野学芸員
会議資料	令和4年度 中野市立博物館事業実績（資料1）、令和5年度 中野市立博物館事業計画（資料2）、中野市立博物館 年報6
会議内容	<p>委員10名中9名が出席。博物館条例第17条第2項により過半数の出席で成立するため、本協議会は成立。</p> <p>(1) 令和4年度 中野市立博物館事業実績について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1をもとに小林副館長が説明。 ○プラネタリウムの小学校学習投影はどのくらい行っているか。 →市内8件(363人)・市外4件(91人)を対象に行った。 ○天体望遠鏡を扱えない教員が増えているため、観測機材を活用した講座があればいいと思う。 <p>(2) 令和5年度 中野市立博物館事業計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料2をもとに小林副館長が説明。 ○コロナ禍前後で博物館の利用状況はどうか。 →少しずつ増えている。資料に実際に触れられる展示や、常設展示室の展示替えを行ったが、今後も内容について工夫していきたい。 ○広報の方法について工夫してほしい。地域の分館活動へも情報発信してほしい。 ○歴史遺産の活用方法について、博物館のみで完結せずに、中野陣屋・県庁記念館等の他の施設と連携し、展示等を工夫して来館者数を増やしてほしい。 ○小中学生向け体験講座の実施について、信濃教育会と連携してみたい。 ○市の広報誌だけでなく、高井地方史研究会の機関誌である『高井』に博物館行事について掲載して広報してほしい。 ○常設展示室の近代部分をもっと充実させてほしい。 <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○博物館の講座・イベントなどについては早めに広報をすると効果的である（1～2か月前、場合によっては半年前でもよい）。 ○中野バラまつりの際に、一本木公園の建物を活用して出張展示ができないか。
その他	○特になし。